⑳セイタカアワダチソウとススキについて調べよう

The Distribution of Tall Goldenrod and Japanese Pampas Grass　—植物調査プログラム—

この活動のねらい

秋になると，空き地には黄色い花のセイタカアワダチソウがたくさん見られます。また，ススキの見られる場所にセイタカアワダチソウがススキと混じって生えているところも見られます。実は，セイタカアワダチソウは，ススキと同じような環境に生える植物なのです。

セイタカアワダチソウとススキを調べることをとおして，在来のススキ群落に，外来植物のセイタカアワダチソウがどれくらい入りこんでいるか，現在の状況を知ることができます。これら2つの植物の変化は，数年間観察しなければ分かりませんが，現況を知り，今後の変化について考えてみましょう。

調べる生きものについて

セイタカアワダチソウは北アメリカ原産の外来植物です。第二次世界大戦後，急速に全国に広がりました。多年生の草本で，地下茎で増え，空き地などに茂って大群落をつくります。一時期，花粉症の原因ではないかといわれたこともありました。

一方，ススキは全国の草地に生育する多年生の草本です。セイタカアワダチソウと同じような環境に生育しています。草丈は2mほどにもなり，カヤ，オバナとも呼ばれ，秋の七草の一つでもあります。中国や朝鮮半島にも生育し，東アジア全域に広がっています。また，十五夜にかざることでも有名ですが，よく似たオギをまちがって飾っている例もあると思われます。ここでは，ススキとオギの見分け方についても紹介します。

セイタカアワダチソウ

ススキ

調べ方

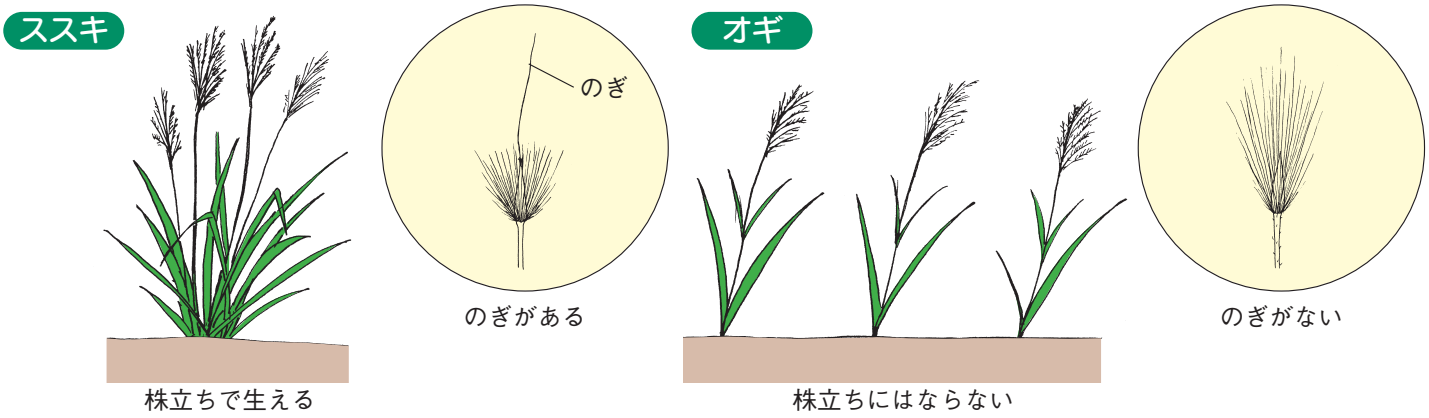
準備するもの

- 筆記用具
- 植物図鑑
- 虫めがね
- ハサミ
- 記録用紙
- 方位磁針
- 根ほり（シャベル）
- カメラ
- 地図（学校の敷地図，地域マップ）
- 胴らん（又はビニル袋と輪ゴム）

1　学校の外に出て，セイタカアワダチソウとススキを見つける。

①　セイタカアワダチソウとススキを観察し，資料や図鑑を使ってその種類を確認しましょう。分からないときは採集し，学校に帰ってから調べましょう。

※　ススキとよく似ている植物にオギがあります。河川敷などでは，ススキではなくオギとセイタカアワダチソウが群落をつくります。



②　セイタカアワダチソウやススキの生えていた場所の環境を調べましょう。

・地面のようす（乾いているか，しめっているか）
・日当たり
・土地の利用状況（畑・土手・道路など）
・カメラで記録する

2　セイタカアワダチソウとススキの植生マップをつくる。

①　セイタカアワダチソウの生えている場所を黄色でぬりましょう。
②　ススキの生えている場所を緑色でぬりましょう。
③　ススキとセイタカアワダチソウの混生している場所を茶色でぬりましょう。

セイタカアワダチソウは，ススキの生長をじゃまします

セイタカアワダチソウは，アレロパシー（他感作用）といって，ススキの生長をおさえる化学物質を土中に出しているといわれています。アレロパシーとは，植物がつくりだす化学物質がほかの植物に与える作用を指します。つまり，ほかの植物の生長をじゃましたり，逆に生長をうながしたりする作用のことです。

セイタカアワダチソウのアレロパシーによって，以前ススキ草原だったところが一面セイタカアワダチソウになってしまうことがあります。しかし，セイタカアワダチソウが茂りすぎると，自分が出した化学物質で自家中毒を起こし，再びススキが茂ってくると考えられています。

参考となる資料

社団法人植物情報物質研究センターホームページ
http://www.phoenix-c.or.jp/~planteco/

【石塚（哲）】